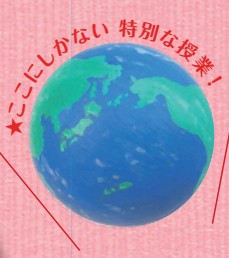
北海学園大学人文学部
語学文化研修

International Programs in Language and Culture



英語運用能力の習得と
貴重な異文化体験が得られる
独自のプログラム！

University of Lethbridge
FIAT LUX
レスブリッジ大学

北海学園大学人文学部

Brock University
ブロック大学

人文学部の留学プログラム（語学文化研修）

英米文化特別演習Ⅰ・Ⅱ：4～7月、9月

専門教育科目各2単位（2018年度以降）　ブロック大学

英米文化特別演習Ⅱは、９月初旬から**約３週間**、本学の協定校であるカナダのブロック大学（オンタリオ州）において、英語圏の大学の授業を履修するために必要な英語運用能力を養成するコース（IELP）を履修すると同時に、現地での様々なアクティビティを通して異文化体験をする研修です。その準備として、前期に英米文化特別演習Ⅰを履修します。この経験が、より長期の留学や進学、海外でのキャリアを目指すことにもつながります。ぜひ積極的に参加してください。

■人文学部 英米文化特別演習 実施一覧（最近）

	研修大学	研修期間	引率教員	参加学生数	委員
第 17 回	ブロック大学	平成30（2018）年度 9月3日～9月21日	森川 慎也	11名（男子7名、女子4名）	米坂 スザンヌ 渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
	レスブリッジ大学		ジェレミ・ブシャー	10名（男子4名、女子6名）	
第 18 回	ブロック大学	令和元（2019）年度 9月1日～9月22日	上野 誠治	10名（男子5名、女子5名）	米坂 スザンヌ 渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
	レスブリッジ大学		ジェレミ・ブシャー	10名（男子5名、女子5名）	

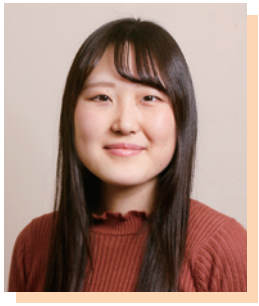
ESSAY

参加者エッセイ

初めて留学を考えている人にピッタリ！
短期集中の３週間を大きなステップに！

一歩を踏み出すこと

永原 佳歩
KAHO Nagahara
１部英米文化学科２年



なかなか勇気を出して一歩が踏み出せず、時間がないから、英語力がないからと言い訳をし、去年はこの英米文化特別演習のプログラムへの参加を断念していました。しかし、今年はやはり留学を通して、自分自身を成長させたいと強く思い、カナダへの留学を決意しました。去年でもなく、今年参加したことによって、大きな学びがあったと考えています。３週間も日本を離れること、初めての地で初めてのホームステイに戸惑うこともありましたが、ホストファミリーや友人たちと過ごした時間は忘れられません。

レスブリッジ大学での授業は、Communication、Reading & Writing の２クラスで構成されていて、どの授業もレベルが高く、今後の学びに対する意識向上につながりました。私は、自分の意見を英語で伝えることが１番大変だと感じました。クラスメイトには、日本の生徒から様々な国の留学生がいるため、沢山の人と関わることができました。放課後や休日は、ホストマザーがショッピングセンターや公園に連れて行ってくれました。日曜日は、隣人たちと一緒にディナーを食べていたのですが、いつもパーティーのようで、いつしか毎週日曜日が楽しみになっていました。また、友人たちとショッピングや映画を見に行くなど、とても楽しい日々を過ごしました。その他にも、ロッククライミングやカヌーなど、新しいことに挑戦する機会に恵まれました。

カナダでは、いつもなら拒んでいたようなことも挑戦しようという気持ちになり、様々な体験ができました。この留学を通して、私はもっと色々な国に行き、文化を学びたいと思うようになりました。今回の経験を、カナダに行ってきただけでは終わらせずに、今後の学生生活に活かしていきたいと考えています。そして、少しでも留学に興味があるなら、まずは行動してみることが大切だと感じます。ぜひ色々なことに挑戦してみて下さい。

国際文化特別演習：9月～12月 専門教育科目12~20単位 レスブリッジ大学

国際文化特別演習は、カナダのレスブリッジ大学で、1学期（**約4か月**）の間、他の国からの留学生と一緒に、大学レベルでの研究に必要な英語運用能力を養成するための授業を履修します。本学を4か月間離れるわけですが、在籍したまま留学し、現地での学修も科目と成績、参加アクティビティに応じて**12～20単位**が本学の卒業単位として認定されますので、4年での卒業が可能です。何より、4か月間の集中的な体験は、大きな効果をもたらすことが期待されます。2年次より参加可能です。この機会をぜひ活用してください（これは、**人文学部だけのプログラム**です）。

■人文学部 国際文化特別演習 実施一覧（最近）

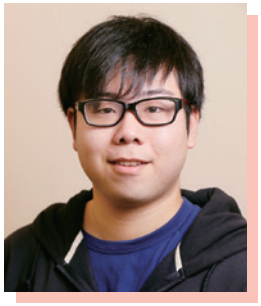
	研修大学	研修期間	参加学生数	委員
第4回	ブロック大学	平成30（2018）年度　9月4日～12月14日	2名（男子1名、女子1名）	米坂スザンヌ 渡部あさみ ジェレミ・ブシャー
	レスブリッジ大学	平成30（2018）年度　9月4日～12月14日	2名（男子2名、女子0名）	
第5回	ブロック大学	令和元（2019）年度　9月4日～12月14日	3名（男子1名、女子2名）	米坂スザンヌ 渡部あさみ ジェレミ・ブシャー
	レスブリッジ大学	令和元（2019）年度　9月3日～12月13日	3名（男子1名、女子2名）	

ESSAY
参加者エッセイ

人文学部だけの
4か月充実プログラム！
しっかり4か月学んで、
世界に羽ばたく！

カナダ来て感じたこと

榊原 雄太
YŪTA Sakakibara
1部日本文化学科3年



私がカナダに来て感じたことは大きく分けて二つあります。一つは「英語」について、もう一つは「考え方」についてです。

まずは一つ目の「英語」について第一に感じたことは、現地の人とコミュニケーションを取ることの難しさでした。中学校から英語を勉強していても実際に話すことは自分にはとても難しかったです。会話のスピードや知らない言い回しなどがたくさん出てくるので、聞き取るのに必死でした。その時の自分には、文法知識や語彙などの基礎的な知識が足りていなかったように思えます。そのことから、これから留学に行こうと考えている学生にアドバイスを一つするなら、事前学習を怠らないことです。特に英語力を伸ばしたいという理由で留学に行くなら、たくさん勉強してください。文法や簡単な単語を覚えることに貴重な留学先での時間を使うのはもったいないと思います。国内での英語学習への取り組み一つで、留学の効果を何倍にもすることができると思いますので、頑張ってください。

次に「考え方」についてです。日本人もカナダ人もよく親切だとか優しいと言われます。実際にカナダに4か月住んでみると、カナダ人は日本人とは違う優しさを持っているように思いました。いろいろな場面で違いを感じたのですが、一番の違いは個人を大切に考えている点だと思います。自分がうまく英語を話せずに、時間がかかってしまっているときも、クラスや周りの流れをある程度遮ってでも、しっかりと自分の話に耳を傾けてくれました。そのため、安心して英語を使うことができました。

留学について様々な意見があると思いますが、個人的には留学に行くことをお勧めします。それまで出会ったことのないような考え方や人に出会うことで、大きく成長できると思うからです。

研修までの流れ

ブロック大学
英米文化特別演習Ⅰ・Ⅱの場合
（3週間の留学）

レスブリッジ大学
国際文化特別演習の場合
（約4か月の留学）

11月
- 合同説明会　（プログラム紹介）

12月
- 募集
- 申込
- 参加者発表

4月上旬 ～ 7月下旬

ブロック大学
- 英米文化特別演習Ⅰ
  募集・申込・参加者発表
  授業開始（隔週土曜に2時限）

レスブリッジ大学
- 国際文化特別演習
  授業開始（隔週土曜に2時限）

8月
- 結団式　（ホストファミリー情報、最終注意事項の確認など）

9月

ブロック大学
- 英米文化特別演習Ⅱ
  カナダでの授業開始（約３週間）
- 9月下旬　終了

レスブリッジ大学
- カナダでの留学スタート
  （約4か月）

- 12月中旬　終了

10月

ブロック大学
- 報告書提出（留学を終えてのエッセイ）
  研究発表会

1月

レスブリッジ大学
- 報告書提出（留学を終えてのエッセイ）
  研究発表会

文化を学ぶ　世界と繋がる

北海学園大学人文学部　日本文化学科（1部・2部）／英米文化学科（1部・2部）

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号　TEL.011-841-1161（代表）FAX.011-824-7729　URL：http://human.hgu.jp/

2020.3